

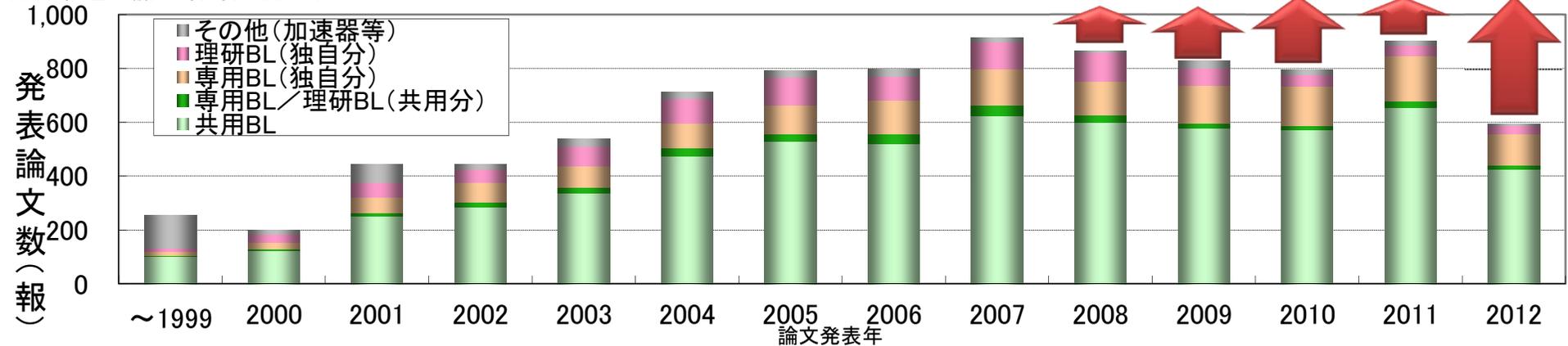
論文発表状況(査読有り原著論文等)[2012年時点]

■ SPring-8を用いた論文発表数は年々増加傾向であり、権威のある雑誌にも毎年複数掲載されている。
 (SPring-8を利用した年の内に論文発表があるとは限らないため、直近の年は減少しているように見える。)

2012年12月末現在	論文発表年														計
	~1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	
共用BL	103	125	251	285	336	476	530	520	623	599	578	574	656	425	6,081
専用BL/理研BL(共用分)	2	5	12	20	23	28	26	37	42	28	19	14	24	18	298
専用BL(独自分)	16	24	59	73	78	92	109	126	132	124	140	148	166	113	1,400
理研BL(独自分)	12	32	54	48	74	92	104	87	101	107	65	42	41	32	891
その他(加速器等)	123	14	69	20	26	25	23	29	16	9	27	18	14	7	420
合計(のべ件数)	256	200	445	446	537	713	792	799	914	867	829	796	901	595	9,090
合計(実件数)	226	185	374	377	450	599	682	662	787	751	733	703	761	494	7,784
(うち、Nature誌掲載)	(2)	(5)	(1)	(6)	(2)	(8)	(7)	(5)	(3)	(7)	(9)	(6)	(9)	(9)	(79)
(うち、Science誌掲載)	(3)	(1)	(0)	(1)	(3)	(4)	(1)	(6)	(1)	(2)	(5)	(5)	(5)	(2)	(39)

※Nature誌及びScience誌掲載数は、2012年10月末時点の数
 ※複数BLを利用した成果に基づく論文はそれぞれのBLでカウント

※登録機関JASRIが別刷り等の資料を受け取り、SPring-8を利用したという記述が確認できたもののみをカウント



Nature : 累計79報
 Science : 累計39報 掲載
 ※2012.10月末時点

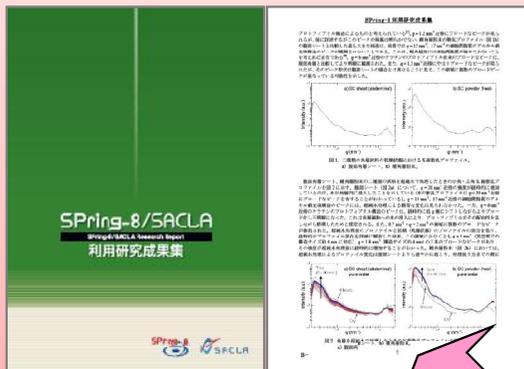


利用研究成果の公表

成果の公表



研究成果検索システム



利用研究成果集
(JASRIが査読)

分かりやすい成果の発信



SPring-8学術成果集



SPring-8産業利用成果集



タイムリーな成果の発信

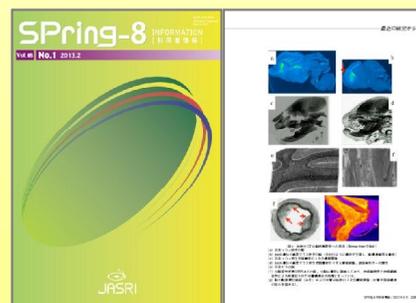


- ・プレスリリース
- ・記者会見

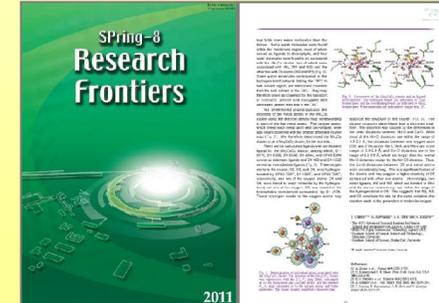


SPring-8 NEWS
(成果を短期周期に分かりやすく発信)

利用者に向けた発信 国際的な成果の発信



SPring-8利用者情報
(トピックスとなる成果情報の発信)



SPring-8 Research Frontiers
(1年間の主要研究成果の発信)